

笑ってごらん

第 606 号 H. 29. 11. 29 発行

～今日のことば～

『FOCUS』

Follow One Course Until Success!

(成功するまで一つのことをやり遂げよう!)

◇◆25日(土)、多くの保護者の出席を得て行った専門課程2年生の『看護師国家試験必勝激励会』。校長・恩師(松山英子先生)・川邊学友会長による激励の挨拶に続き、受験生代表:下脇田さんが決意表明の挨拶。その後、井料学科長による国家試験についての講話があり、三者面談へと進んでいった。長い5年間もあと3ヶ月あまりで終わる。これから国家試験までの期間はかなりの精神力が必要とされる。クリスマス・正月・成人式と世間の誘惑もあることだろうが、ここは目前に控える国家試験を第一に取り組んで欲しい。周囲の者は家族にしろ先生にしろ応援するしかない。頼りになるのは自分自身のみ。プレッシャーも大きかろうが、日々をしっかりと過ごして欲しい。くれぐれも体調を崩すことがないように。大健闘を祈る。◇◆高校生の皆さんは27日(月)から期末考査・卒業考査が始まっている。これまでに受けてきた授業内容がどれだけ身についているか確認する大切な試験。ガンバレ～!



感謝道

◇◆25日(土)、月一回の『合同体育』を実施した。挨拶練習をグラウンドで行い、かつ、体力作りのためにランニングを行うという取り組みである。挨拶練習については毎日朝夕クラス内で行っているが、グラウンドで一斉に行うことによって、他のクラスの様子も観て参考にすることができる。加えて、クラス内の狭い空間においては声が反響してしまうことから、さほど大きな声を出さなくともそれなりに聞こえる。しかし、外での挨拶練習は反響する天井や壁が無いので、通常の音量では小さく感じてしまう。自然に屋内での挨拶と屋外での挨拶は異なることを体感できたはず。また、ランニングについては月一回走ったところで体力がつく訳も無いが、クラスの友達と一緒に決められた距離を走ることを通じて日常生活の中に体力作りの場面を意識的に取り入れるきっかけになってくれれば幸いとの思いがある。◆10年ほど前までは、この『合同体育』は毎日行っており、本校の名物行事だったのだが、「50分授業」となってからは時短のために『合同体育』は廃止されたのだった。残念ながら毎日の取り組みが無くなったことで、挨拶の状況は悪くなり、体力も落ちてきた感が否めなくなってきた。そこで数年前よりSH・終礼時に挨拶練習を義務化し、さらに今年度より月一回ではあるが、『合同体育』を復活させた経緯がある。挨拶は人間社会における基本である。10月14日、同窓会『白鳳会』の方々より『挨拶と花と笑顔で飾ろう鳳凰高等学校』という懸垂幕を頂戴し、本館玄関前に掲げてある。これは後輩の皆さんに対する同窓生の皆さんからの熱きメッセージであると心得る。母校が世間から高い評価を受けることは同窓生として嬉しいもの。挨拶にしろ、体力作りにしろ、一朝一夕に身につくものではない。コツコツと日々意識して取り組みを重ねることで近い将来の自分自身が形作られていくことは、勉強やスポーツと何ら変わりはない。大切なことは前向きに取り組む「意識・実践」である。◆私自身、ここ数年はたまにウォーキングをすることはあっても走ることは無かった。特に昨年腰を傷めてからはなおさらである。皆と一緒にトラックを5周走ったが、2周目で既に止めようかと思うくらいキツかった。「あともう1周・・・」と踏ん張って走ると、4周目には少し身体が軽くなり、5周目には「まだまだイケるんじゃないの?」と思えてきた。しかし、腰への負担を考えてそれまでとした。翌朝、バリバリの筋肉痛! 歳を感じる瞬間であった。私にとっては体力の衰えを痛感することができた貴重な機会となったのである。